

ダイワ・インド株式オープン ー ガンジスの恵み ー

<4758>

追加型投信／海外／株式
日経新聞掲載名：ガンジスの恵

第28期 2023年10月12日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第28期末	基準価額	16,388円
	純資産総額	3,534百万円
第28期	騰落率	29.9%
	分配金	1,500円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0475820231012◇

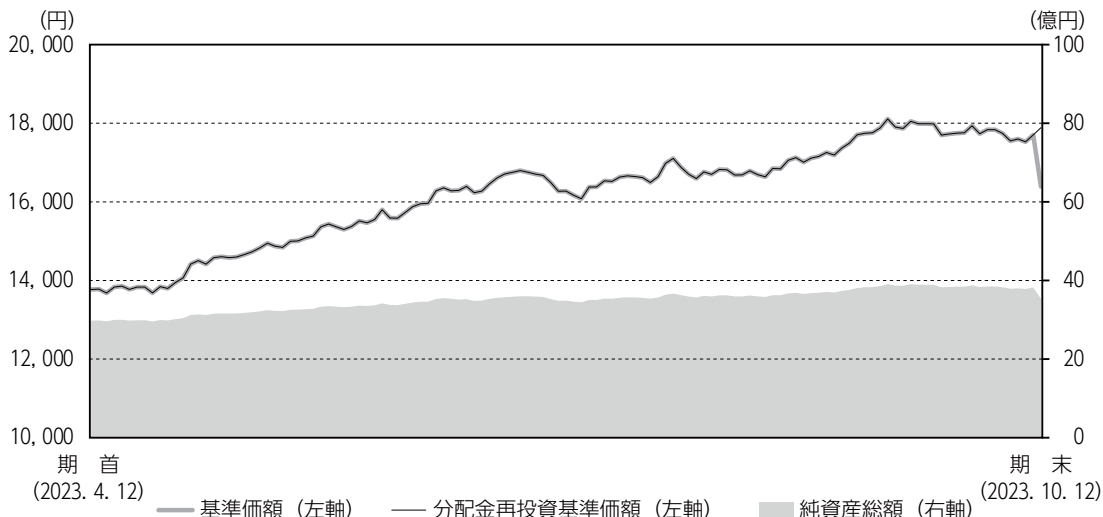
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,771円

期末：16,388円（分配金1,500円）

騰落率：29.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」を通じてインド株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。インド経済の成長期待やRBI（インド準備銀行）の利上げ休止を背景とする株式市況の上昇に加え、インド国債の主要新興国債券指数への組み入れの発表に伴う資金流入期待などを受けたインド・ルピーの対円での上昇（円安）が、プラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 4. 13~2023. 10. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	150円	0.924%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,226円です。
(投 信 会 社)	(71)	(0.440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	12	0.072	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.070)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
有 価 証 券 取 引 税	5	0.031	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(5)	(0.031)	
そ の 他 費 用	88	0.539	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.061)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(77)	(0.475)	インドキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	254	1.566	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

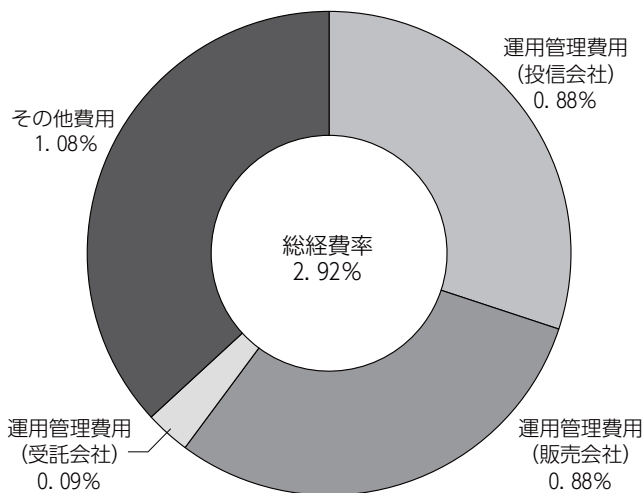
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.92%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数はMSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月12日 期初	2019年10月15日 決算日	2020年10月12日 決算日	2021年10月12日 決算日	2022年10月12日 決算日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (円)	9,420	10,101	10,546	13,743	14,722	16,388
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	2,800	1,500	1,500
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.2	4.4	59.8	18.7	21.5
M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	9.2	5.4	55.4	13.6	15.6
純資産総額 (百万円)	7,628	4,855	3,938	3,147	3,129	3,534

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算) は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、M S C I が開発した指数で、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

*参考指数を「M S C I インド指数 (配当込み、円換算)」から「MSCI インド指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

投資環境について

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2023年7月にかけて、インフレ鈍化を背景とするRBI（インド準備銀行）の利上げ休止などが支援材料となり、上昇基調で推移しました。8月は、米国国債の格下げなどから世界的に投資家心理が悪化し、弱含む展開となりました。9月半ばにかけては、2023年4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が内需主導の堅調な内容であったことなどを好感して反発したものの、当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通し引き上げなどを背景とする米国長期金利の上昇などを受け、再度弱含む展開となりました。

■為替相場

インド・ルピーは対円で上昇（円安）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より2023年6月にかけて、日銀の金融緩和の継続姿勢を背景に円安米ドル高が進行したことから、対円で上昇しました。7月上旬には、日銀の金融緩和修正観測の高まりから円高が進行し、対円で下落しました。当作成期末にかけては、日銀の緩和的な金融政策維持に加えて、インド経済の成長期待やインド国債の主要新興国債券指数への組み入れの発表に伴う資金流入期待などを受け、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目して運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 13 ~ 2023. 10. 12)

当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

インド経済の構造変化の中で、高い成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。

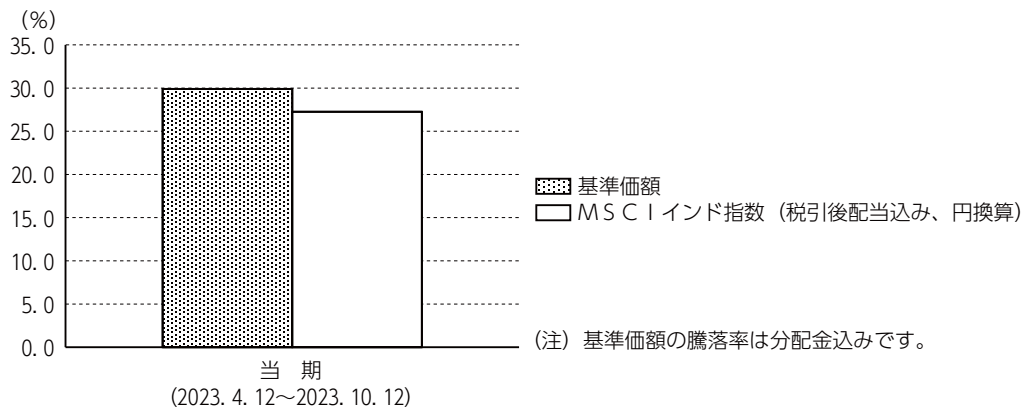
セクターでは、中長期的に貸出残高の増加が期待された銀行などの金融セクターや設備投資拡大の恩恵が期待されたエンジニアリング大手などの資本財・サービスセクターを組入上位としました。

個別銘柄では、広範な支店ネットワークを有し、個人向けローンの拡大に注力する民間銀行大手のHDFC BANK LIMITEDや、インダストリー4.0（第4次産業革命）が事業拡大の追い風になると見込むエンジニアリング大手のABB INDIA LTDなどを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年4月13日 ～2023年10月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	1,500
対基準価額比率	（%）	8.39
当期の収益	（円）	1,500
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,792

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	125.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	2,996.51
(c) 収益調整金		3,316.04
(d) 分配準備積立金		1,854.46
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)		8,292.31
(f) 分配金		1,500.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)		6,792.31

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド

当ファンドでは、インド経済の長期的な成長から恩恵を享受することをめざし、業績の成長力が相対的に高い中小型の企業などにも注目して運用を行ってまいります。

セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

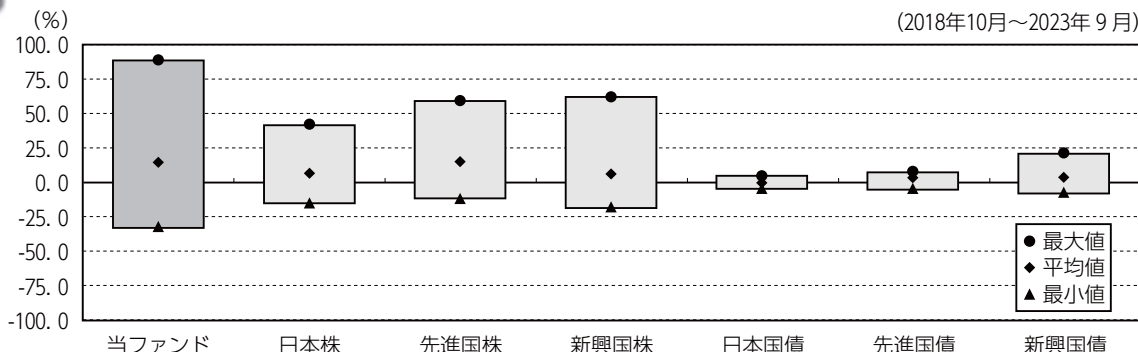


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2009年12月16日～2024年10月11日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式、店頭登録株式およびDR（預託証券）（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できるインド企業の株式（※）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②銘柄の選定にあたっては、中長期的な成長性を判断するため、業界動向、個別企業の競争力、経営戦略、技術力等に着目します。</p> <p>③ポートフォリオの構築にあたっては、幅広い投資機会の獲得をめざし、業種、企業規模の分散を図ります。</p> <p>④外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、SBI Funds Management Limited の助言を受けます。</p> <p>⑤株式（※）の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※株式…DR（預託証券）を含みます。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	89.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	14.3	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5
最小値	△ 33.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



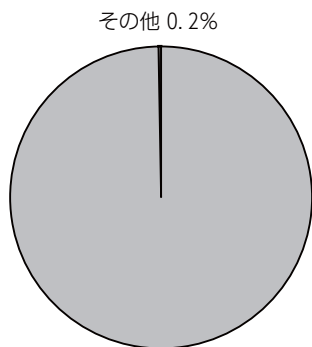
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

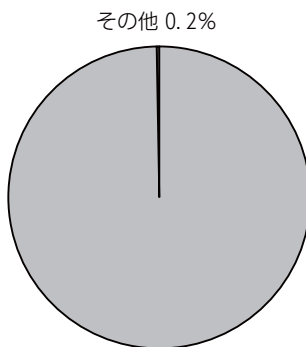
	比 率
ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド	99.8%
その他	0.2

資産別配分



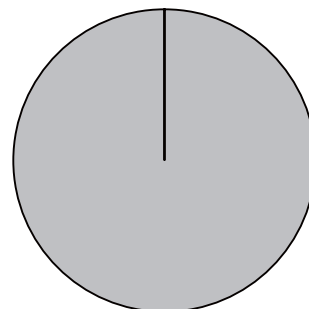
マザーファンド 99.8%

国別配分



日本 99.8%

通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2023年10月12日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当期末
	2023年10月12日
純資産総額	3,534,768,838円
受益権総口数	2,156,892,738口
1万口当り基準価額	16,388円

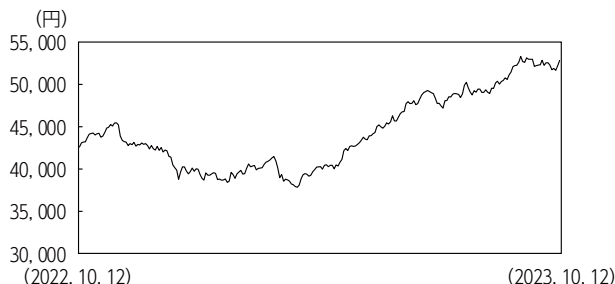
*当期中における追加設定元本額は111,181,623円、同解約元本額は118,672,321円です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド（作成対象期間 2022年10月13日～2023年10月12日）

■基準価額の推移



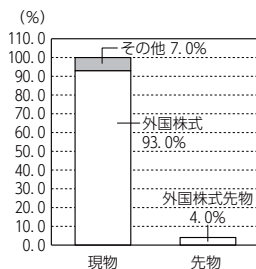
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	56円 (54) (2)
有価証券取引税 (株式)	23 (23)
その他費用 (保管費用) (その他)	331 (50) (281)
合計	410

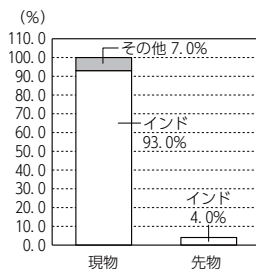
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
HDFC BANK LIMITED	インド・ルピー	5.4%
ABB INDIA LTD	インド・ルピー	5.1
IFSC NIFTY 50 OCT 23 買	アメリカ・ドル	4.0
INDIAN HOTELS CO LTD	インド・ルピー	4.0
AXIS BANK LTD	インド・ルピー	3.7
TVS MOTOR CO LTD	インド・ルピー	3.6
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	インド・ルピー	3.5
CUMMINS INDIA LTD	インド・ルピー	3.4
BHARAT FORGE LTD	インド・ルピー	3.4
GREAT EASTERN SHIPPING CO	インド・ルピー	3.3
組入銘柄数	41銘柄 (先物含む)	

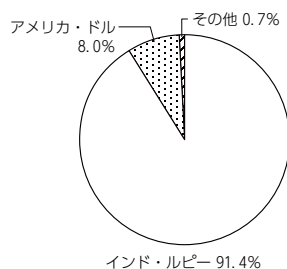
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。